

2025 年度 藤女子大学大学院

ウェルビーイング学研究科食環境マネジメント専攻

入学試験Ⅱ期「栄養教育論」問題・解答用紙

2025 年 3 月 9 日

受験番号

- 問題 1. ヘルスリテラシーとは、「健康を高めたり、維持したりするのに必要な情報にアクセスし、その情報を理解・利用するための、個人の意欲や能力を決定する、認知・社会的なスキル」と定義されている (WHO, 1998)。ヘルスリテラシーが不十分な場合の健康への影響について説明し、行政など地域における集団へのヘルスリテラシーを高めるための栄養教育の可能性について、自身の考えを論じなさい。

問題 2. トランスセオレティカルモデルの変容ステージは、人の行動が変容する過程が「無関心期」「関心期」「準備期」「実行期」「維持期」の 5 つのステージを辿るとする考え方である。このうち「無関心期」のステージの人に対して行動変容を促すと、心理的抵抗をあらわし、栄養教育が逆効果となることがある。それはなぜか。また、このような対象者に対しては、どのようにはたらきかけることでステージを進展させることが可能となりうるのか。自身の栄養教育の場におけるエピソードなど例を挙げ、専門的な見地から具体的に説明しなさい。

問題3. ストレスに暴露した際に心理的な負担を減らすために行う対処法として、おもに「問題焦点型コーピング」と「情動焦点型コーピング」の2つがある。人々が日常的に遭遇するストレスに対して、どのように対処することによって健康を維持しうるのか。もう一方で、どのような対処が継続することによって健康を脅かすのか。「問題焦点型コーピング」と「情動焦点型コーピング」の用語を用いて、専門的な見地から具体的に説明しなさい。